科目番号	50002	分類	共通科目	履修者	高度実践公衆衛生コース	学年
科目名	保健医療福祉システム特論 （ Advanced Course in Health and Welfare Systems ）					1 配当ｾﾒｽﾀｰ 後期
担当者	○岸恵美子　他２名	区分	必修	単位	2	時間数 30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概　要】 保健医療福祉分野において、看護職が果たすべき役割を理解するために保健医療福祉に係る制度及び政策決定プロセスについて基礎的な知識を深める。また、政策医療におけるネットワークの現状も理解し、実際的にどのようなシステム活用により連携が行われているのか、探索的に学び、理解を深める。 国民のニーズに沿う医療・看護の提供のための連携、ネットワークの必要性を理解する。具体的には、保健医療福祉におけるネットワークシステムを理解し、将来的に病病連携、看看連携、医療福祉連携など、新たなシステム構築に向けてのネットワークを創出できるようにする。 【目　標】 1．疾病と社会との関係について理解する。 2．社会保障全体の財政の構造を理解する。 3．国民のニーズに沿う医療・看護の提供のための連携、ネットワークの必要性を理解する。 4．政策医療におけるネットワークの理解を深める。 5．医療・看護における新たなネットワークを考える。 6．看護における情報管理、情報提供の在り方を考える。		1.多様な課題に対応する高度な実践力
		2.地域住民の自立を支える統合的支援能力
	○	3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力
	○	4.政策や保健事業を開発する能力
		5.災害対応や新興・再興感染症への危機管理能力
	○	6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第1回	ガイダンス	岸 他２名
第2回	日本の保険医療制度の特徴	
第3回	保健医療サービスの現状と課題	
第4回	日本の社会福祉政策の潮流（施設、在宅、地域福祉）	
第５回	社会福祉サービスの現状と課題	
第6回	社会保障はどこからきたのか	
第7回	社会保障はどうこなしてきたのか	
第8回	社会保障はどこに行くのか	
第9回	病院の講師と国公立の独法化	
第１０回	実践現場における保健医療福祉システムの課題（ワーク）	
第１１回	実践現場における保健医療福祉システムの課題（ワーク）	
第１２回	実践現場における保健医療福祉システムの課題（ワーク）	
第１３回	実践現場における保健医療福祉システムの課題（課題発表）	
第１４回	実践現場における保健医療福祉システムの課題（課題発表）	
第１５回	実践現場における保健医療福祉システムの課題（課題発表）	

事前・事後学習	事前学習：新聞等、様々な媒体を利用して、保健医療福祉の最近の動向をみておくこと。 事後学習：講義の配布資料を参考に、自ら関連のある文献等を探索すること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。
評価の方法	講義等への参画状況（10%）　課題レポート及びプレゼンテーション（90%） フィードバックは適宜行う。
参考図書・資料等	随時参考資料を提示する。
備　　考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。